

事例検討の進め方とルール

AIと社会福祉士による支援内容の比較・評価に向けて

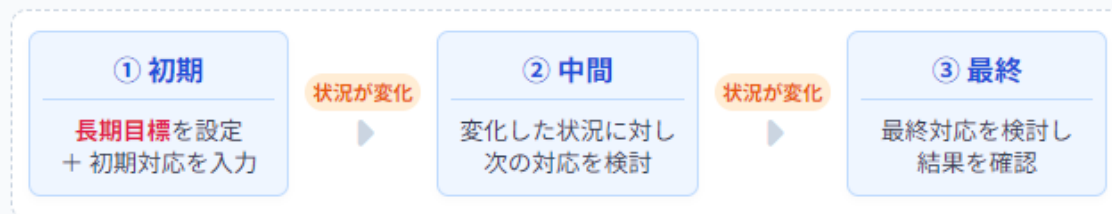
≡ 検討のステップ

1 事例の自動生成と読み込み

登壇者の職種に合わせた事例をメーカーで生成します。
開始後 **5分間** で事例を読み込みます。（要点スライドあり）

2 3段階の対応検討

以下の流れで進めます。**初期段階で「長期目標」も設定**します。



3 支援内容の発表・AI回答の配布

最終対応の発表後、AIが考えた支援内容をオープンチャットに **PDFで配布** します。

👥 役割と特別ルール

👤 登壇者（社会福祉士）

- ✓ 最終的に目指す目標を設定した上で対応を開始します。
- ✓ 変化する状況に対し、具体的な支援内容を検討・発表します。

⚠️ 【重要】AI回答の遮断ルール

AIの回答に影響されないよう、登壇者には休憩後の公表までAIの回答内容は伏せられます。

👥 聴衆の皆様

- ✓ 配布されるPDFでAIの回答を確認しながら進行を見守ります。
- ✓ 社会福祉士とAI、それぞれの支援内容の評価します。
- ✓ 評価はGoogleフォームで投票をお願いします。（結果は最後に発表）

事例の生成とサンプル

AI（事例メーカー）が、毎回異なる生々しい「困難事例」を自動生成します。（以下はサンプル）

ケース概要・主訴

概要：ADL低下に伴う生活破綻と介護者（長女）の限界が目前。本人は外部支援を完全拒絶しており、近隣から「怒鳴り声」の通報。セルフネグレクトおよび虐待リスクあり。

主訴：「他人の世話になるほど落ちぶれてはいない。娘が余計な世話を焼くから腹が立つ。役所が来るなど、近所に恥をさらす真似は絶対に許さない」

登場人物

- A氏（78歳・男性）：本人。
- Bさん（52歳・女性）：長女。同居で介護を一人で担い疲弊。
- C氏（48歳・男性）：長男。別居（盆暮れ以外は連絡なし）。

アセスメント詳細

- **身体・経済：**脳梗塞後遺症（左軽度麻痺）。リハビリ拒否で筋力低下、排泄失敗が増加。元管理職で年金はあるが、通帳を枕元に隠し持ち娘に管理させない。
- **ストレングス：**仕事での強い自負、書道（地域表彰歴）、家族を養ってきた「一家の主」としてのプライド。
- **象徴的エピソード：**
 - ・娘が買った手すりを「年寄り扱いするな」と杖で破壊。
 - ・排泄失敗時、着替えを促す娘を1時間以上怒鳴る。
 - ・民生委員を「二度と来るな」と玄関から追い返す。

▶ この事例に対し、「長期目標（1年後）」と「ファーストステップ（最初の4か月）」を提示して開始します。

事例検討 評価基準

1点～5点で採点

提示された「人間」と「生成AI」の支援方針について、以下の観点から直感的に評価をお願いします。

1 論理的な根拠

支援の方針や内容は、客観的・論理的な根拠に基づいているか。

2 実現可能性

実際の福祉現場で、無理なく実行に移せる実現可能な内容であるか。

3 倫理基準の遵守

専門職の行動規範（利益の最優先、受容、説明責任、自己決定の尊重、プライバシー保護）を満たしているか。

4 寄り添い

要支援者の心情や背景に配慮し、心に寄り添った内容であるか。

5 個人的な好み

内容が「正しいか」ではなく、直感的に「好きか嫌い」自分の好みに合うか。

🗨️ 自由記述（その他ご意見）

採点理由や、それぞれのプランに対する専門的な視点からのご意見・ご感想。

投票フォームへのご案内

スマートフォンでのご回答

お手元のカメラ機能で、右記のQRコードを読み取ってください。事例検討用のGoogleフォームが開きます。

PC・ブラウザからのアクセス

以下のURLより直接アクセスをお願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/1unS3lm6PkoLiBChHi2lwhAASAtT9L8gDcINDY2Pkg78/viewform>



カメラで読み取ってください